

## 平成25年度病虫害発生予報第1号

長崎県病虫害防除所長

向こう1か月間における主な病虫害の発生動向は次のように予想されます。

## 【予報の概要】

農作物名	病虫害名	発生程度	
		現況	予想
水稻共通	ヒメトビウンカ(技術情報第1号) 縞葉枯病(技術情報第1号)	- -	少 やや少
麦類	うどんこ病 赤かび病(防除情報第1号継続)	少 -	少 並
ばれいしょ	疫病 アブラムシ類 ジャガイモガ	並 やや少 並	並 並 並
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類	やや少 やや少 少	やや少 やや少 少
いちご (本圃)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	やや少 並 多 並	やや少 並 多 並
かんきつ	そうか病 かいよう病 ミカンハダニ	- - 並	並 やや少 並
なし	赤星病 黒星病 アブラムシ類	並 並 やや少	並 並 やや少
果樹共通	カメムシ類	並	並
茶	カンザワハダニ チャノキイロアザミウマ クワシロカイガラムシ	並 やや少 やや少	並 やや少 やや少

【発生予報】

本文の( )内は平年値

水稻共通
------

## 1. ヒメトビウンカと縞葉枯病

平成25年4月16日付、病虫害発生予察技術情報第1号による。

麦類
----

## 1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

ア 4月上旬の巡回調査(二条大麦9筆、裸麦4筆、小麦15筆)の結果、発生を認めなかった(二条大麦・裸麦:発生を認めない、小麦:発病茎率0.3%、発生圃場率5.8%)。

イ 4月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(二条大麦・裸麦:発生を認めない、小麦:発病茎率0.6%)。

2. 赤かび病

平成25年4月2日付、病害虫発生予察防除情報第1号を継続。

なお、その後の発生状況等については以下のとおりである。

(1) 発生状況等

ア 4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

イ 4月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

ばれいしょ

1. 疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 4月上旬の巡回調査(24筆)の結果、発生を認めなかった(発生株率0.0%、発生圃場率0.5%)。

イ ジャガイモ疫病初発期予測モデル(FLABS長崎モデル:農林技術開発センター)によると、3月1、15日を出芽日とした予測初発期間は下表のとおりである。

表 ジャガイモ疫病の予測初発期間(平成25年春作)

アメダス 観測地	予測初発期間	
	出芽日 3 / 1	出芽日 3 / 15
長崎	4 / 5 ~ 15	4 / 12 ~ 22
大瀬戸	4 / 18 ~ 28	4 / 19 ~ 29
大村	4 / 18 ~ 28	4 / 19 ~ 29
島原	4 / 12 ~ 22	4 / 14 ~ 24
口之津	4 / 12 ~ 22	4 / 13 ~ 23
平戸	4 / 9 ~ 19	4 / 15 ~ 25
福江	4 / 11 ~ 21	4 / 17 ~ 27

注1) FLABS長崎モデルにアメダス観測地を入力した結果

注2) 出芽日は50%出芽日

(2) 防除上注意すべき事項

ア 本病は発生すると急激に進展し、まん延するので予防防除に重点をおく。

イ 昨年、本病が発生した圃場は、罹病残渣から伝染し発病するおそれがある。

特に秋作の罹病残渣は重要な伝染源となるので注意する。

ウ 圃場の見回りをを行い、発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。

エ 薬剤散布は、薬剤が下葉に達するように十分量を散布する。

2. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

- ア 4月上旬の巡回調査(24筆)の結果、寄生株率は4.0%(6.3%)、発生圃場率は41.7%(54.2%)であった。
- イ 向こう1か月の降水量は平年並か少ない見込みであり本虫の発生に好適である。

### 3. ジャガイモガ

- (1) 予報内容  
発生程度 並
- (2) 予報の根拠  
4月上旬の巡回調査(24筆)の結果、発生を認めなかった(被害株率0.1%、発生圃場率0.6%)。
- (3) 防除上注意すべき事項
- ア 栽培期間中に薬剤防除を行い本虫の密度低減を図る。
- イ 畝表面に露出したいもに産卵するので、栽培期間中は土寄せを十分に行う。
- ウ 掘り取りは日中に行い、成虫が活動し始める夕方までに屋内に収納する。
- エ 掘り取ったいもは長く圃場に放置しない。圃場に残したくずいも等はできるだけ早く処分する。
- オ 貯蔵庫の開閉部や隙間からの成虫の侵入を防ぐとともに、貯蔵庫に収容したいもは寒冷紗、こも等で覆って成虫の侵入を防ぐ。
- カ 貯蔵中に被害が発生した場合は、定期的に被害いもを除去する。

## トマト

### 1. 黄化葉巻病

- (1) 予報内容  
発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠  
4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.1%(過去8カ年平均0.9%)、発生圃場率は8.3%(同22.9%)であった。

### 2. 灰色かび病

- (1) 予報内容  
発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠  
4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.8%(0.7%)、発生圃場率は16.7%(31.3%)であった。

### 3. コナジラミ類

- (1) 予報内容  
発生程度 少
- (2) 予報の根拠  
4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.0%(2.2%)、発生圃場率は8.3%(31.2%)であった。

## いちご

### 1. うどんこ病

- (1) 予報内容  
発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.2%(0.2%)、発生圃場率は3.7%(5.7%)であった。発病果率は0.0%(0.1%)、発生圃場率は3.7%(7.0%)であった。

## 2. 灰色かび病

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.2%(0.2%)、発生圃場率は22.2%(16.0%)であった。

## 3. アブラムシ類

### (1) 予報内容

発生程度 多

### (2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は1.6%(0.4%)、発生圃場率は25.9%(5.6%)であった。

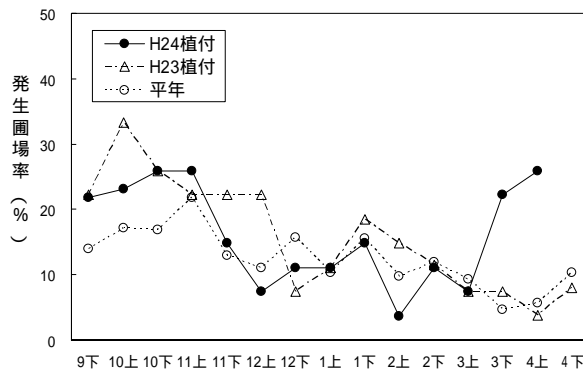


図 いちご アブラムシ類 発生圃場率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)  
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H23の平均値

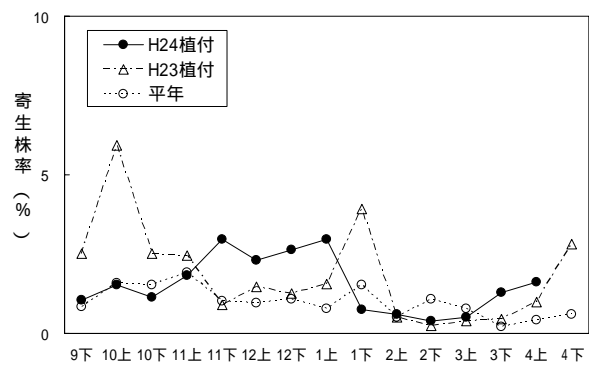


図 いちご アブラムシ類 寄生株率の推移  
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)  
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H23の平均値

### (3) 防除上注意すべき事項

薬剤抵抗性の出現を避けるため、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。

## 4. ハダニ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は5.9%(10.5%)、発生圃場率は40.7%(44.6%)であった。

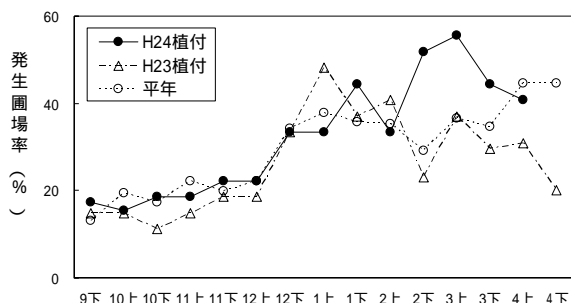


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移

平年：H14～H23の平均値(最大・小値除く)

ただし、12/下、1/下、2/下はH19～H23の平均値

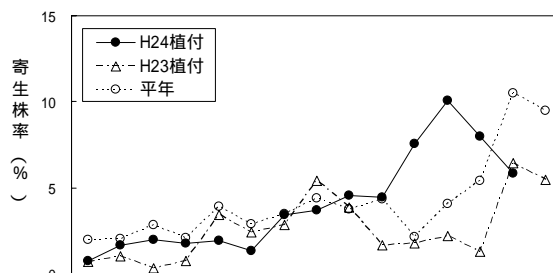


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移

平年：H14～H23の平均値(最大・小値除く)

ただし、12/下、1/下、2/下はH19～H23の平均値

## かんきつ

### 1. そうか病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査(36筆)の結果、旧葉での発生を認めなかった(発病葉率0.02%、発生圃場率2.9%)。

### 2. かいよう病

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少

#### (2) 予報の根拠

3月下旬の巡回調査(36筆)の結果、旧葉での発病葉率は0.14%(0.4%)、発生圃場率は11.1%(20.2%)であった。

### 3. ミカンハダニ

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(36筆)の結果、寄生葉率は0.7%(1.2%)、発生圃場率は16.7%(18.4%)であった。

## なし

### 1. 赤星病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.1%、発生圃場率1.0%)。

### 2. 黒星病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

( 2 ) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率0.8%)。

3. アブラムシ類

( 1 ) 予報内容

発生程度 やや少

( 2 ) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(寄生新梢率0.5%、発生圃場率24.0%)。

果樹共通

1. カメムシ類

( 1 ) 予報内容

発生程度 並

( 2 ) 予報の根拠

1~2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬量調査の結果、常緑広葉樹林の落葉中の虫数は0.41頭/m<sup>2</sup>(0.44頭/m<sup>2</sup>)と平年並であった(平成25年3月15日付、病害虫発生予察技術情報第3号参照)。

茶

1. カンザワハダニ

( 1 ) 予報内容

発生程度 並

( 2 ) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(16筆)の結果、寄生葉率は1.3%(1.9%)、発生圃場率は18.8%(36.0%)であった。

2. チャノキイロアザミウマ

( 1 ) 予報内容

発生程度 やや少

( 2 ) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(16筆)の結果、たたき落とし虫数(5回×4カ所当り)は1.4頭(6.2頭)、発生圃場率は43.8%(60.2%)であった。

3. クワシロカイガラムシ

( 1 ) 予報内容

発生程度 やや少

( 2 ) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査(16筆)の結果、寄生株率は5.0%(10.1%)、発生圃場率は50.0%(61.7%)であった。

【参考】

気象 (平成25年4月12日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

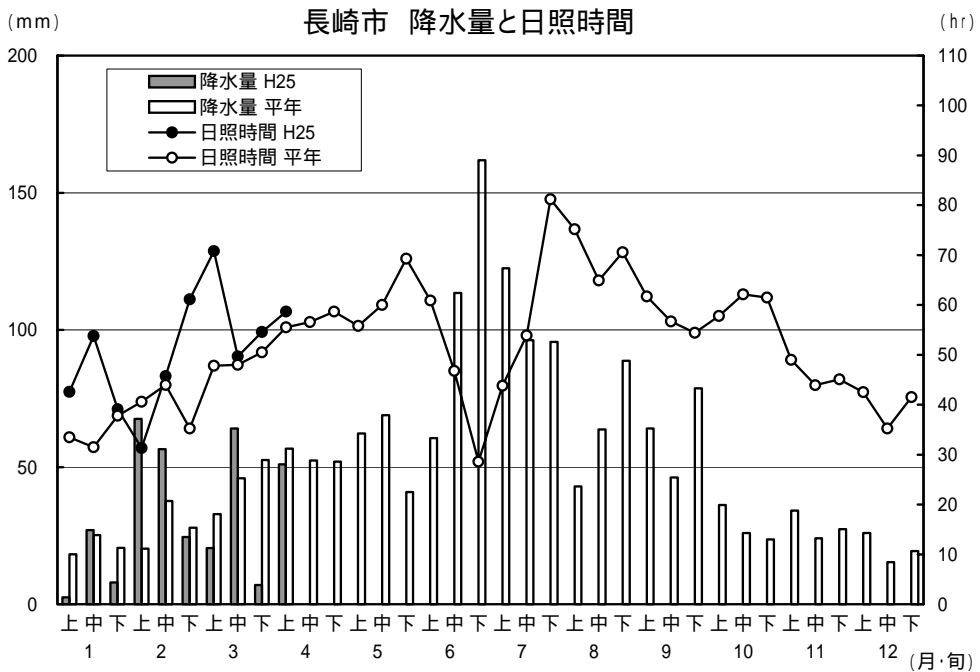
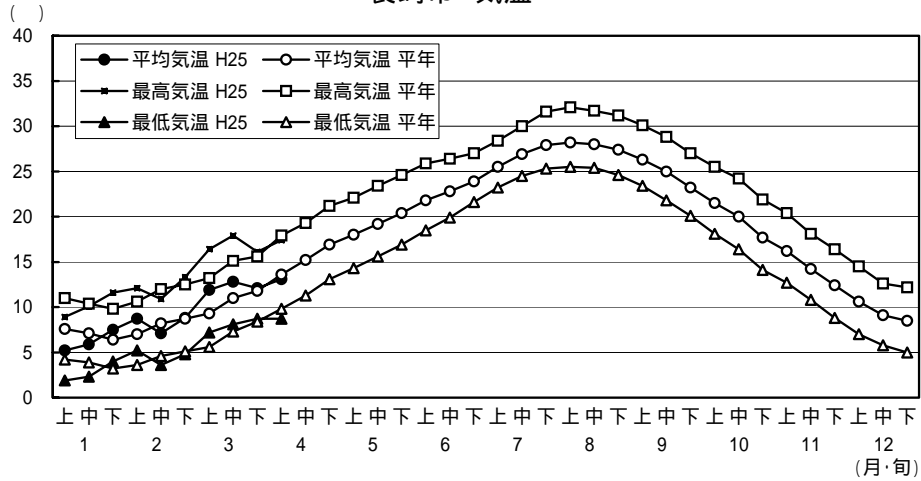
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	30	30
降水量	40	40	20
日照時間	30	30	40

予報対象地域：九州北部地域

平成25年の気象経過 (長崎海洋气象台)

長崎市 気温



病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027